

ルールテスト		氏名	点		
問	題			問	題
Q1	プレイヤーに5回目のファールが宣せられた時主審がコールする。		Q11	3秒ルールはボールが、フロントコート内でコントロールされている時だけに適用される。	
Q2	ゲーム中、ベンチ・エリアで立ち続けていることが出来るのはコーチだけになった。		Q12	スコア シートを記入するペンの色は、第1,3ピリオドは黒色とする。	
Q3	すべてのゲームにおいて、プログラムで先に記載されているチーム又はホームチームのチームベンチ及びそのチーム(自チーム)のバスケットはセンターサークルからオフィシャルズテーブルに向かって左側とする		Q13	8秒ルールの8秒が場合により継続されることになったので、そのようなときはバックコートのアウト・オブ・バウンズから行われるスローインの際に、残り秒数を両チームのプレイヤーに知らせる。	
Q4	ジャンプボールオルタ・ネイティング・ポゼション・ルールでスローイングされたボールがコート内のプレイヤーに触れたあとは、その誤ったスローイングは訂正できない。		Q14	フリースロー時、リード・オフシャルは制限区域に踏み込み、フリースローの数を示してから、1投目のフリースローボールをフリースローシューターにバウンズパスでフリースローボールを与える。	
Q5	チャージド・タイム・アウトは、一方のチームあるいは両チームがゲーム再開する準備が出来たとしても1分(60秒)が経過したことを知らせるタイムキーパーの1回目の合図があるまで、ゲームを再開できない。		Q15	ジャンプボールシチュエーションになったとき、それまでボールをコントロールしていたチームに引き続きスロー・イン・ボールが与えられる場合も24秒がリセットされる。	
Q6	チャージド・タイム・アウトは、コーチ又はアシスタント・コーチがチームベンチ・エリアから出てオフィシャルズ・テーブルの所に行き、直接タイムキーパーに対して請求しなければならない。		Q16	オルタネイティング・ポゼション・ルールは、後半から攻めるバスケットが変わるので、前半 第2ピリオド が終了したときに速やかにポジションアローの向きを変える。	
Q7	交代はヴァイオリションが宣せられたときも、ファールが宣せられたときと同様に、どちらのチームにも交代が認められることになった。		Q17	同選手がアンスポーツマンライクファールを2回犯すと失格退場となり、スコアキーパーは5ファール時と同様に合図を鳴らして知らせる。	
Q8	テクニカル・ファウルは与えられるフリースローの数は全て2個になった。得点したチームのプレイヤーがバスケットを通過したボールに故意に触れてゲーム進行を遅らせることも明記された。		Q18	プレイヤーがファールをされたように見せかけて床に倒れたりする行為はテクニカルファールとなる。	
Q9	ゲーム開始前の合図は、主審は開始3分前の合図とゲーム開始1分30秒前に笛を鳴らして両チームのプレイヤーがウォームアップをやめてチームベンチに戻るよう指示する。		Q19	テクニカル及びアンスポーツマンライクファールのファールによるフリースローはファールを宣した相手審判がフリースローをさせる。	
Q10	主審は、ジャンプボールさせるためにボールをトスアップするときにも規則違反が起こったときにただちに笛を鳴らせるように、笛をくわえておくようにしなければならない。		Q20	操作の誤りで競技時間が正しく計測されなかった時は、審判の指示でゲームクロックの表示を訂正出来ない。	